

3:00–4:00 PM	General discussion of topics of interest to visitors: Ken, Clarence, Caroline, others as needed
4:00 PM	“Pau Hana” (Done work) Dinner on your own
Friday, June 30	
Morning	Breakfast on your own
8:30 AM - 12:00 PM	Home visits with clinical team
12:00–1:30 PM	Lunch at Hospice Hawaii General discussions with Hospice Hawaii team, if needed
1:30–4:00 PM	Back to hotel, rest, play
4:00 PM - ???	To Ken’s home in Kaneohe.
Saturday, July 1	
8:00 AM to 5:00 PM	Volunteer training at Hospice Hawaii office Continental breakfast and lunch provided
6:00 PM–9:00 PM	Relaxed dinner at Ken & Laurel’s home
Sunday July 2	
Home	Ken will get you to the airport

<出張時の連絡先>

Sheraton Moana Surfider

2365 Kalakaua avenue Honolulu Hawaii 96815-2943

tel.808-922-3111 fax.808-924-4799 ※時差 -1 9時間 (+ 5時間- 1日)

(添付資料2)

ボランティア研修スケジュール
ホスピスハワイ&パリアン
2006年6月28日から7月1日
最新スケジュール (16/6、2006)

目的:

1. 在宅ホスピスケアプログラムにおけるボランティア活動の構成要素を明らかにする。
2. ボランティアを養成するための構成要素を明らかにする
3. ホスピスハワイカイルアホーム (ホスピス病床) 見学
4. 臨床チームメンバーの訪問同行

ホスピスハワイは今回の参加者に研修マニュアルと面接用資料を提供する。

暫定スケジュール

日時	活動
6月27日火曜日 8:45AM	ホノルル国際空港到着 (Ken Zeri が出迎え)
5:30PM	アウトリガー・カヌー・クラブにて夕食
6月28日水曜日 午前中	各自朝食
12:00-3:00PM	ホスピスハワイにて昼食 講義: 米国のホスピス by Ken Zeri ボランティアプログラム by Clarence Liu
5:30-10:00PM	ホスピスハワイにてボランティア研修クラス見学 軽い夕食は研修の場で提供されます
10:00PM	ホテルに戻る
6月29日木曜日 朝	各自朝食
8:30-11:00AM	ホテルに出迎え後、ホスピスハワイカイルアホーム見学
12:00-3:00PM	ホスピスハワイにて昼食 講義: ボランティアプログラムの詳細 by Caroline Odo, (ボランティアコーディネーター)
3:00-4:00PM	参加者の興味のあるテーマについて討議

	Ken, Clarence, Caroline その他必要に応じて他のスタッフも参加
4:00PM	Pau Hana 各自夕食
6月30日金曜日 朝	各自朝食
8:30-12:00PM	臨床チームと在宅同行
12:00-1:30PM	ホスピスハワイにて昼食 必要に応じてホスピスハワイのチームと討議
1:30-4:00PM	ホテルに戻り、休憩
4:00PM	Kaneohe に行く。6:00PM ごろに夕食とする。
7月1日土曜日 8:00-5:00PM	ホスピスハワイにてボランティア研修見学 コンチネンタルブレイクファーストとランチはホスピスにて提供
6:00PM-	夕食
7月2日日曜日	日本に戻る

A 『ホスピスハワイ ボランティアトレーニングマニュアル』

- I. はじめに
- II. ホスピスハワイトレーニングプログラムの目的
- III. なぜ、ホスピスボランティアか
- IV. ホスピスの歴史的背景
- V. ボランティアコーディネーターからの歓迎の手紙
- VI. ホスピスハワイの概要
- VII. ホスピスハワイの組織図
- VIII. ホスピスケアの考え
- IX. ボランティアの役割
- X. 守秘義務のフォーム
- XI. 患者と家族の義務と権利
- XII. 疼痛と症状コントロール
- XIII. 死に近づいた時のサインと症状
- XIV. ボディメカニクスと気をつけること
- XV. 心理社会的見解
- XVI. 文化的な視点
- XVII. 死別
- XVIII. スピリチュアルの問題

A 『ホスピスハワイ ボランティアトレーニングマニュアル』

I. はじめに [概要]

NA HOA MALAMA 「友人として看取る」

ホスピス・ケアの基本理念

地域型ホスピスであるホスピス・ハワイのケアプログラムは、オアフ医療保健制度下で統合され、連携して運営されている。このプログラムは、私たちのホスピス・ケアに対する理念を具現化したもので、現地語で「友人として看取る」を意味する「NA HOA MALAMA」と呼ばれている。

包括的学際プログラムであるこのホスピス・ケアは、住み慣れた地域において終末期患者とその家族・友人に希望、看取りと慰めを提供するものである。人間の生命はかけがえの無いものであり、愛され、同情されそして尊敬されるのは当然のことである。

人間が生きるうえで苦しみは付きものである。このケアプログラムは、終末期患者の霊的価値観に沿って身体的、感情的そして社会的立場に適した方法で苦痛を和らげることを目指している。健康や精神的成長の喪失により味わう失望や苦痛は自然の流れであり、全ての人々は、固有の霊的信条や表現方法を持つことがある。

ホスピス・ケアの基本は、終末期の患者とその家族や友人間の相互の支援と愛情の機会を提供することである。私たちは、患者とその家族・友人は人生を全うする作業を完結すべき時間を共有すべきと考えている。その作業とは、精神性に移行し、帰属感、目的意識と希望感の高揚である。

ハワイホスピス学際チームメンバーは、終末期患者とその家族・友人間の連帯感を育て、ケアの選択肢を提示し、さらに個人の主体性の確立を助けるために、誠心誠意その任務を遂行することである。

A 『ホスピスハワイ ボランティアトレーニングマニュアル』

Ⅲ. なぜ、ホスピスボランティアか [概要]

ホスピスボランティアの必要性

1970年代のホスピスの形成期には、絶望的になっている死に行く人々に医療チームやボランティアに何ができるのか、などの多くの議論が提起された。ホスピスワーカーが直面する焦燥感、疲労感、ストレスに関する論文や書物が主流でしたが、これも取り越し苦労に終わった。ホスピスの仕事に充実感を覚える者、一方でその場を静かに去る者もいた。

ホスピスワーカーに関してよく耳にする言葉として、

- 1) 人間的に素晴らしい人
- 2) 気の滅入る仕事

の誤解を解く必要がある。

私たちは特別ではなく、ごく普通の人間である。死、死に行くことを自然の摂理として静かに戦う人々を支援する機会に恵まれていることである。この仕事は気の滅入るものではないが、悲しくて泣きたい時もある。しかし、多くの笑いもある。それにより、肉体的、感情的、霊的、経済的や心理的に起因するどんな痛みも一緒に和らげることができる。

ホスピス・ハワイの一員として、死に行く患者とその家族が最も困難なときに手助けできることに感謝している。与えることよりも得ることのほうが大きいことを経験している。また、死は誰もが通る自然の道であることを学んだ。これにより、使命感と同情の気持ちが培われた。人生で最も意義深いことは、人間関係を紡いでいくことをいつも目のあたりにしている。はかない人生だから人間関係は大切なものである。

生と死の境界線を注視することで、現在を大切に生きる意識が高まる。現状をあまりにも深刻に考えて袋小路に落ち込むより、運命の気まぐれに身を任せるおおらかさに到達することができた。

仕事に精を出すよう激励するのではなく、いい仕事をするのが私たちの任務であり、いい仕事は自分自身のためになっていく。ホスピス・ハワイの一員である「やさしい家族」に、患者が最も困難なときに患者のそばに付き添う機会を与えてくれたことに感謝する。

全ての人々に安らぎを・・・・・・

A 『ホスピスハワイ ボランティアトレーニングマニュアル』

Ⅸ. ボランティアの役割 [概要]

ホスピス・ボランティアの役割

最初の患者訪問は常につらいことである。

一) 私を受け入れてくれるだろうか？

一) 何をしたらいいのか？

などの質問はごく自然なことである。自信を失った時には、ホスピス・ケアの専門家があなたをそのチームの一員に選んでくれたことを思い出して下さい。あなたが担当する患者とその家族が望むものを自然体で素直な気持ちで答えるためには、まず飛び込むことから始まる。必要なことは彼らが教えてくれる。あなたが提供できることを彼らに知らせることで、いい関係が自然と生まれるものである。

患者・その家族にとってのボランティア

ボランティアの最も大切な役割は終末期患者とその家族の最期の六ヶ月間を、可能な限の快適さと意義ある人生を全うするための支援である。

1. 誠実さ

自然体であること。静かにし、傾聴し、また細やかな世話などは患者のために必要であるが、あなたらしさが大切である。病人は自然に扱われることを望んでおり、これにより、患者は病気で孤立していないことを確認できるのである。接するのは患者本人であり、病ではないのである。

このことは患者の家族にとっても同じことである。ボランティアの役割は友人であり、サポーターであり、管理者や指令者ではない。全ての質問に答えられるよう期待はされていない。医療や専門的な質問には看護師や主治医が的確に答えてくれることを家族や患者が理解していることをすぐにあなたは知るはずである。ボランティアはコミュニケーションの架け橋として存在するのである。この役割は、自分が快適と感じたときに自然に果たすことができる。

2. 看護師(ケースマネジャー)とのコミュニケーション

看護師とボランティア間の明確なコミュニケーションは基本である。二人は最小のチームでお互いを信頼し、また、患者・家族にとっても最も頼りにされている。

定期的に連絡を取り合い、患者・家族の近況をお知らせする。よい関係を作るために、遠慮せず積極的に働きかけることが大切である。

3. 家族とのコミュニケーション

ボランティア・スケジュールを家族に明確に伝えることはあなたの義務である。行き違いや、誤解を避けることができる。最初に、家族の要望や願いを確認し、(患者の様態で変わることもある) それにどのように対応するかを提示することも一案である。訪問するときは前もって電話をかけることも喜ばれる。あなたのやり方次第で円滑に仕事が進む。

4. 信頼性

終末期の患者には不測の出来事が起こりやすいため、頼りにできる人やサービスを前もって知らせておくことは重要である。出来ない事は確約しないで下さい。一刻を争う緊急時には選択肢が限られてくる。外部に連絡することは極めて困難な状況にある。ボランティア活動はあなたにとって活動の一つに過ぎないかもしれないが、患者はあなたの訪問を心待ちにしている。また、主介護人にとっても気晴らしや用事が足せる貴重な時間でもある。

5. 傾聴

ボランティアの役割はまず患者や家族の要望に応えることであると忘れないでほしい。たいていは自分が話すよりも聞き手に回ることになる。同じ話を何度となく聞かされることもある。また、怒り、苛立ち、憎しみへは、あなたの意見は求められてはいません。時として、感情の矛先があなたに向くかもしれませんが、あなたが非難されているわけではありません。

6. 秘密保持

患者とその家族を名前と言及するのは、ホスピスケアチームに限って下さい。患者やその家族から打ち明けられた極秘情報はケアプランに関する事以外は内密にし、不安であればケアチームに話すこともできる。誰にも話してはいけないという情報が患者や家族から出た場合には、そのような約束はしないでほしい。適切なケアチームメンバーに伝える必要のある情報かを判断することは患者や家族を保護することになるからである。

7. 身体的接触

触れたり触れられたり身体的接触を好む人もいれば、そうでない人もいる。担当する

患者に合わせた対応が必要である。たいていの患者は挨拶に手を握ったり、疲れて会話ができないときには、意思疎通、気遣いや親密さを身振りで表現することもある。家族は患者の手を取り、肩を抱くなどして、傍で見守っていることを知らせる。関係は徐々に深まっていくものである。率直に、感じるままを表現することである。いつも言うことであるが、あなたの感じる事が相手にそのまま伝わるからである。大切なのは自然体であることである。

8. 患者の価値観を優先

患者の価値観と生活様式を大切にすることは、常に研修中に教えられる。家族の対応があなたのそれと相当な隔たりがあっても、求められないアドバイスをすることは適切ではない。家族関係は長い時間と家族の歴史によって培われたもので、あなたがそれに割って入ることはできません。ボランティアの役割は一定の状況下で協調性を持って手助けすることで、状況を変えることではない。

9. 小さな心遣いが大きな意味をもつ

- A 身だしなみや洋服は患者の気分に影響することがある。
色彩や素敵な身だしなみは患者の心を明るくする。
- B 香水やアフターシェービングの香りは投薬中の患者には不愉快になることがある。
- C 積極的な態度や柔らかい物腰は大きな違いを生みます。作った明るさや過度のおしゃべりではなく、患者を大切に思う気持ちである。
- D カードや花は部屋を明るくし、贈った人の心が伝わり、励みになる。
- E 時には静かにそばに座っているだけで、大きな慰めとなる。

B. 『ホスピスハワイ ボランティアトレーニング スケジュール』

1日目(4.5h) 17:30-22:00

- 17:30-18:00 受付&軽食
- 18:00-18:10 オリエンテーション [ボランティアコーディネーター]
- 18:10-18:25 ホスピスハワイの歴史 [CFO]
本チームの目標と目的
- 18:25-19:00 守秘義務 [ボランティアコーディネーター]
緊急連絡先(ボランティア中に何かあった場合)
撮影承諾書(写真をとっていいかニュースレターに掲載されてもよいか)
ツ反(無料で結核のテストを受ける)
- 19:00-19:45 コミュニティビルディング演習[ボランティアコーディネーター]
1)円になり椅子に座り、順に自己紹介
2)2分間:2人1組で自己紹介⇒【目的】知らない人と話す練習
- 19:45-20:00 休憩
- 20:00-21:30 死にゆく過程でのスピリチュアルケア [チャプレン]
1) 2人1組になり、今までで1番悲しかったことについて話す
2) 何も言わずにただじっと聞く⇒【目的】傾聴
- 21:30-22:00 質問・宿題
- 終了

2日目(9.5h) 7:30—17:00

- 7:30- 8:00 受付&朝食
- 8:00- 8:10 瞑想 [ボランティアコーディネーター]
- 8:10- 9:40 死と死ぬことの心理社会的プロセス [ソーシャルワーカー]
演習:4つのカテゴリーに関する喪失体験を疑似体験し、患者と
との家族の気持ちを共感する目的で行う
- 9:40-11:10 死ぬときの疼痛と症状コントロールについて [元?看護師]
- 11:10-11:25 休憩
- 11:25-12:25 遺族のお話(パネルディスカッション) [3人の遺族]
- 12:25-13:25 ランチ
- 13:25-15:00 ライフライン [ボランティアコーディネーター]
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-16:15 死に直面するとき [ボランティアコーディネーター]
- 16:15-17:00 宿題 [ボランティアコーディネーター]

本日のふりかえり(相互理解・情報交換)、まとめ

終了

3日目(9.5h) 7:30-17:00

7:30-8:00	受付&朝食	
8:00-9:30	傾聴	[ボランティア]
9:30-9:45	休憩	
9:45-10:40	ボランティアの役割 仕事の説明 書類の作成	[ボランティアコーディネーター]
10:40-11:40	ボランティアのお話(パネルディスカッション)	[ボランティアコーディネーター]
11:40-12:40	ランチ	
12:40-15:00	患者ケアと安全性 感染注意	[看護助手]
15:00-15:15	休憩	
15:15-16:15	ボランティアしてその後にくるもの 同意書 トレーニング後の参加(継続? 現任? 教育) 修了式	[ボランティアコーディネーター]
16:15-17:00	ふりかえり、評価、みんなでわかちあう	[ボランティアコーディネーター]
	終了	

プログラム 受講時間:計 23 時間、参加費用:無料

ボランティア申請用紙

名前 () 日付 ()
電話 (自宅:) (勤務先:)
(携帯:)
住所 ()

E-Mail ()
職業 ()

資格/訓練 マッサージ 霊気 芸術療法 プレイセラピー
音楽療法 その他 ()

ボランティア可能な時間 ()

地理的な場所 ホノルル オアフ ノースショア
ワイアナエ コースト

話せる言語 ()
流暢か? はい いいえ

ホスピスハワイでのボランティアになることにどうして関心を持ったか説明してください。

近親者が亡くなりたか?もしあれば、いつ、そして誰であるか?

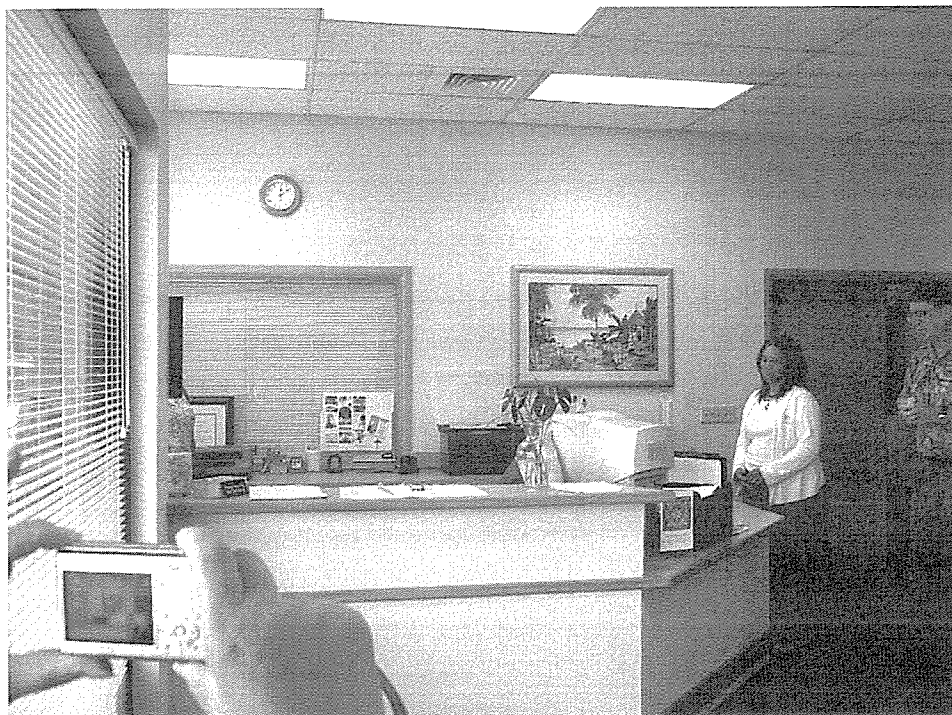
ボランティアプログラム受講後のインタビューサマリーフォーム

	全体的な様子				
	かなり適している	→		→	あまり適していない
終了後のインタビュー	1	2	3	4	5
 その人自身のこと					
	外向的		→		内向的
性格	1	2	3	4	5
	高い		→		低い
成熟度	1	2	3	4	5
	強すぎ		→		弱すぎ
声のトーン	1	2	3	4	5
	騒がしい		→		とてもやさしい
声の音量	1	2	3	4	5
	かなり影響的	→	平均	→	難しい
コミュニケーション能力	1	2	3	4	5
	敵対的	→	親しみやすい	→	乏しい
ふるまい・表情	1	2	3	4	5
	とてもある	→	ちょっと心配	→	非常に自信ない
ボランティアへの自信	1	2	3	4	5
	とても高い	→	平均	→	とても低い
適応能力／危険覚悟△	1	2	3	4	5
構築能力／△	1	2	3	4	5

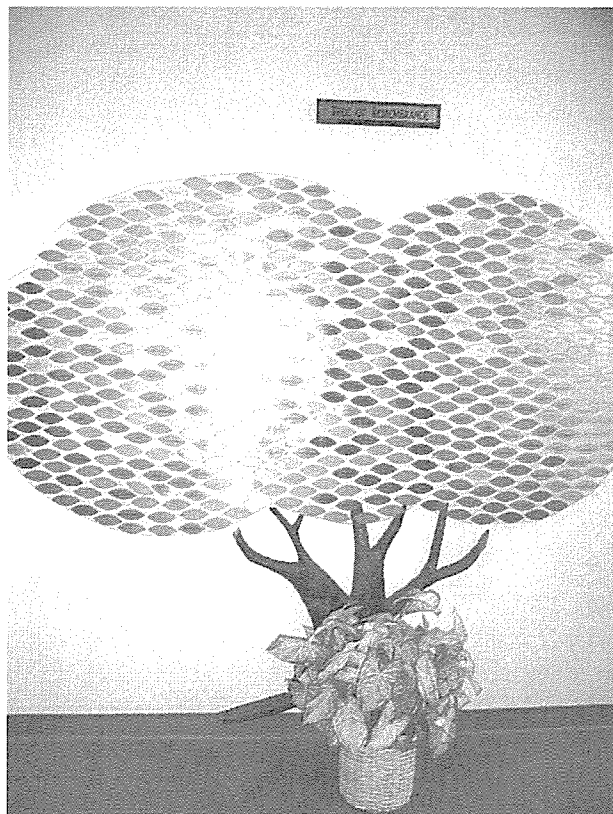
個々人の記述(身体・社会・環境)



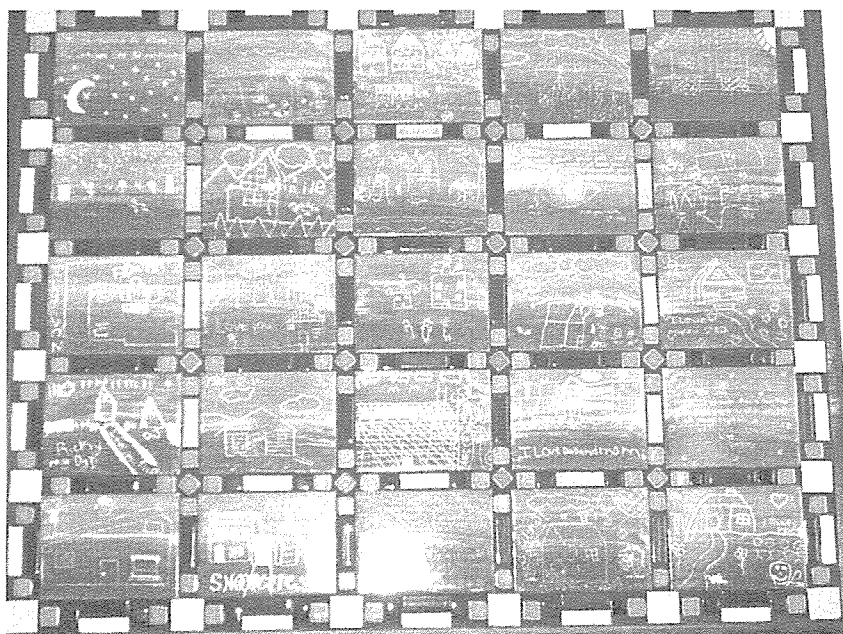
[Hospice Hawaii 概観]



[Hospice Hawaii 受付]



[思い出の樹：葉のプレートには寄付をした方々の名前が記されている]



[遺族キャンプでの作品 その1]



[遺族キャンプでの作品 その2]